

## ソニー(6758)



### - リスクバッファを積み増し業績予想は据え置き -

ソニーが1日に発表した第1四半期(4-6月期)の営業利益は、前年同期比2.8倍の1576億円となりました。しかし、熊本地震の影響など一時的要因を除いた前年の第1四半期の営業利益1094億円と、カメラモジュール製造子会社の譲渡益や熊本地震関連の保険金の受取など一時的要因を除いた今期の第1四半期の営業利益1208億円を比べた増益は114億円で、実質ベースの増益率は10%強となります。

ソニーは4月に公表したゲームとデジタルカメラ、イメージセンサーの3セグメントの営業利益の予想を今回、上方修正しています。ゲームについては競争環境やタイトルスケジュールを見直したことなどにより100億円見通しを引き上げたほか、カメラについては円安の影響などにより120億円、イメージセンサーについても価格維持の努力やコスト削減効果などにより100億円引き上げています。

しかし、3セグメントの営業利益の上方修正額合計の320億円と同額のリスク費用を計上することで相殺し、4月に公表した5000億円の通期の営業利益の予想は変更されませんでした。これによりリスクバッファは4月時点でみていた400億円に、3セグメントの上方修正分が新たに積み増され約700億円となっています。上方修正よりも、よりリスクに備えることにより下振れしないことを重視しているようです。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会